

「住みたいまち潮来」の実現にむけて

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃より、市政運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今国内経済はバブル期以降、最も高水準の賃上げや、企業の投資意欲が高まるなど、明るい兆しが見える一方、国際的な原材料価格の高騰や急激な円安の進行による物価の高騰、世界的な情勢不安など経済を取り巻く環境は複雑化しており、私たちは加速度的に進む人口減少に直面し、将来を見通すことが困難な時代の転換点を迎えておりますが、潮来市では課題解決のため様々な施策に取り組んでいるところです。

観光振興につきましては、風光明媚な「水郷潮来」といわれるように、湖沼や河川に囲まれた自然豊かな水郷地帯であることから地域資源を活用し、カヌーやボート、サップといった水上スポーツを盛り上げてまいります。そしてローイング競技のメッカとして、令和7年7月に「全日本中学選手権競漕大会」が約200組のクルー参加のもと、開催されることになりました。さらに、前川運動公園には人工



芝サッカー場をもう一面整備するほか、ホームタウンとして鹿島アントラーズとタイアップをし、サッカースクールや大会などを継続して実施してまいります。また市の運動施設を使用し、宿泊を伴うスポーツ大会や合宿を行った団体へは「合宿開催支援補助金」を交付しており、合宿や各種大会の誘致を積極的に推進し、スポーツツーリズムによる通年型観光の振興に取り組むことで、スポーツでまちを活性化し、競技者や観戦者などより多くの人に訪れていただき関係人口を増やしていきたいと考えております。

また、鹿行地域は茨城県内でも特に医師不足が深刻な地域であるため、医療環境の改善策が必要不可欠であります。本市においては、安心して暮らせる社会基盤の充実に向けた保健・医療体制の構築を図るため、循環器科を専門とする新たなクリニックを誘致し、開設されることになりました。このクリニックが開設されることは、市民の皆さまにとりまして安心・安全の第一歩となります。

今後とも、市民の皆さまの更なる郷土愛の醸成を図り、「住みたいまち潮来」の実現に挑戦してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまにとりまして、実り多き素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

潮来市長 原浩道

